1980 年代には、獲る漁業は乱獲の権化とみなされ、
また魚は水銀やダイオキシンが含まれるとして、
魚を食べないよう勧める学者もいました。
他方、寿司や魚食は世界に拡大していて、
持続可能な漁業と乱獲漁業を区別するエコラベルが普及してきました。
さらに、ほかの産業界と同様に、労働環境など社会的責任全体への
配慮が求められるようになりつつあります。

消費者が求めるものと社会が求めるものの共通点と相違点から、
消費者にとっての魚食問題を考えます。

漁業の今と未来を考える

参加費無料

SDGsと水産物

垣添　直也(かきぞえ　なおや)

(一社) マリン・エコラベル・ジャパン協議会 会長
日本水産(株)入社、1999 年～ 2013 年代表取締役社長。この間、大日本水産会副会長、日本冷凍食品協会会長、日本冷蔵倉庫協会会長、日本輸入食品安全推進協会会長、食品産業中央協議会会長を歴任

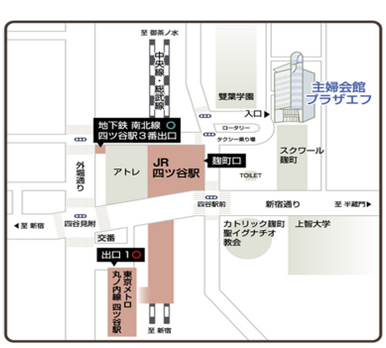
松田　裕之(まつだ　ひろゆき)

横浜国立大学名誉教授・学長特任補佐
生物の適応進化・持続可能な漁業・生物の絶滅リスクなどを研究。
日本生態学会元会長、海洋政策学会理事、国際捕鯨委員会・生物多様性条約の日本代表団、防衛省の辺野古や経産省の愛知万博の環境影響評価委員を務めた。

日　時　2023 年 7 月 7 日(金)
14：00 ～ 16：00

会　場　東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 3F 主婦連合会会議室 及び
オンライン(Zoom)併用
〒102-0085　東京都千代田区六番町 15
[JR 四ツ谷駅　麹町口　徒歩 1 分] [地下鉄南武線 / 丸ノ内線四ツ谷駅徒歩 3 分]

お申込み　お名前、連絡先(電話、メールアドレス)、参加方法(実参加 / オンライン)を
下記主婦連合会事務局までお知らせください。



主婦連合会　Tel.03-3265-8121　E-mail.info@shufuren.net

主催：主婦連合会・(一財) 主婦会館